

財産の差押

市税の滞納が発生すると、電話督促などにより速やかな納税を働きかけていますが、中には納められるのに納めない滞納者もいます。市では、このような悪質ケースを対象に、自動車・バイクのタイヤロックを含む「差押」を集中実施しています。

平成23年度には、有名ブランドバッグや指輪、高級時計、骨董品、バイク・軽自動車などの動産や、土地、家などの不動産、また預貯金、給与、年金、債権なども含め合計1810件の差押を執行しました。その結果、強制徴収した滞納金は約1億1300万円にも達しました。(表1)

(表1) 差押(参加差押を含む)の件数 (国保税を除く)

	差押(参加差押を含む)の件数			
	動産	不動産	債権	合計
H22年度	5件	208件	942件	1155件
H23年度	24件	343件	1443件	1810件



市税滞納“ゼロ”へ本格始動！

福祉や教育、道路・公園整備などの公共サービス。私たちの快適な暮らしを支えるこのような行政活動は、ひとりひとりが納める貴重な税金で成り立っています。多くの方々がきちんと税金を納めている一方で、税負担は公平公正でなければなりません。市税滞納ゼロを目標に、市は、納めやすい環境を整えるとともに、徹底した滞納整理に取り組んでいきます。

那覇市納税催告センター

コンビニ納付で収納アップ

期限内納付率を高めるため、今年度から固定資産税、市県民税(普通徴収分)、国民健康保険税の、便利なコンビニ納付を開始しました。

土・日や祝祭日、また夜間でも、買い物ついでなどに気軽に利用でき、利便性が大きく向上しました。ライフスタイルに合わせた納付が可能となったことで、期限内納付は大幅にアップしました。

11月・12月は微収強化月間。納め忘れはないかご確認ください。



滞納ゼロへ

市では毎年、課税した税金の23%、約8億円がその年度内に納付されず、翌年度へ繰り越されています。平成23年度の決算で、累積した滞納繰越額は約27億7千万円でした。滞納は、滞納額分の影響にとどまらず、滞納者の財産調査や差し押さえ、そしてそれを売却する経費など、多くの費用を発生させています。このようなことから、滞納ゼロを目指すなければなりません。

市は、今後もあらゆる方法で滞納整理に取り組み、より充実した公共サービスの提供へとつなげていきます。

インターネット公売 納税相談

差押えた動産や不動産については、インターネットオークションシステムを利用して公売しています。このシステムを利用することにより、県内外を含めたより多くの方に公売参加の機会を提供し、公売の目的である財産の高額売却を図っています。

何らかの事情により、どうしても納期限までに納付できない場合は、未納のまま放置することなく、納税課の窓口で納税相談をして下さい。場合によっては、分割納付や納税の猶予ができることもあります。

親子がいいきと健やかに

Q これからの計画は何か？
母子保健推進員の存在をもっと知ってもらうために、各種イベントにおける啓発活動、資質向上のための勉強会や情報交換をこれから行っています。

また、たくさん子を生み、安産の象徴として昔から知られていく犬のマスクコトづくりにも取り組み、母子手帳交付時に妊婦さんへ配布し、新しい生命の誕生のお祝い、母子保健推進員の周知を図ります。

Q 母子保健推進員の活動の目的は何ですか？
親と子が地域の中でともにいきいきと健やかに生活ができるような那覇市をめざします。どの妊婦も安心して出産が迎えられ、親の育児不安が解消されるなど、子どもと適切な関わりがもてるよう子育ての先輩として地域での育児相談役を担っています。

Q どのような活動を行っていますか？
昭和47年に那覇市の母子保健推進員制度が始まり、平成5年には母子保健推進員協議会(うりずん会)が設立されました。

今年で設立20周年を迎えるこの協議会は、平成24年4月現在で46人の会員が所属しており、乳幼児健診未受診世帯や保健師から依頼のあった世帯を訪問し、健診の受診勧奨をしながら保護者からの子育て相談に応じしています。

また、小学生から高校生までを対象に、手作りの胎児人形や妊娠シミュレーターを使って、命の尊さや喫煙が胎児に及ぼす影響などについて講習会を行っています。

また、乳幼児健診会場やイベント会場、動物などをモチーフにして壁面を作成し、訪れた親子が楽しめる雰囲気を作っています。

お問い合わせ 健康推進課 ☎858-1456

第22回は、那覇市母子保健推進員協議会会長の高良多美子さんです。

Q 母子保健推進員の活動の目的は何ですか？
親と子が地域の中でともにいきいきと健やかに生活ができるような那覇市をめざします。どの妊婦も安心して出産が迎えられ、親の育児不安が解消されるなど、子どもと適切な関わりがもてるよう子育ての先輩として地域での育児相談役を担っています。

Q どのような活動を行っていますか？
昭和47年に那覇市の母子保健推進員制度が始まり、平成5年には母子保健推進員協議会(うりずん会)が設立されました。

今年で設立20周年を迎えるこの協議会は、平成24年4月現在で46人の会員が所属しており、乳幼児健診未受診世帯や保健師から依頼のあった世帯を訪問し、健診の受診勧奨をしながら保護者からの子育て相談に応じしています。

また、小学生から高校生までを対象に、手作りの胎児人形や妊娠シミュレーターを使って、命の尊さや喫煙が胎児に及ぼす影響などについて講習会を行っています。

また、乳幼児健診会場やイベント会場、動物などをモチーフにして壁面を作成し、訪れた親子が楽しめる雰囲気を作っています。

お問い合わせ 健康推進課 ☎858-1456

第22回は、那覇市母子保健推進員協議会会長の高良多美子さんです。

Q 母子保健推進員の活動の目的は何ですか？
親と子が地域の中でともにいきいきと健やかに生活ができるような那覇市をめざします。どの妊婦も安心して出産が迎えられ、親の育児不安が解消されるなど、子どもと適切な関わりがもてるよう子育ての先輩として地域での育児相談役を担っています。

Q どのような活動を行っていますか？
昭和47年に那覇市の母子保健推進員制度が始まり、平成5年には母子保健推進員協議会(うりずん会)が設立されました。

今年で設立20周年を迎えるこの協議会は、平成24年4月現在で46人の会員が所属しており、乳幼児健診未受診世帯や保健師から依頼のあった世帯を訪問し、健診の受診勧奨をしながら保護者からの子育て相談に応じしています。

また、小学生から高校生までを対象に、手作りの胎児人形や妊娠シミュレーターを使って、命の尊さや喫煙が胎児に及ぼす影響などについて講習会を行っています。

また、乳幼児健診会場やイベント会場、動物などをモチーフにして壁面を作成し、訪れた親子が楽しめる雰囲気を作っています。

お問い合わせ 健康推進課 ☎858-1456

協働さん いらっしゃい！

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

第22回 那覇市母子保健推進員協議会

お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎861-3846